

鳥取県有種雄牛 ‘勝茂久’

1 ‘勝茂久’の造成

(1) 背景・目的

畜産試験場では優秀な種雄牛の造成を期待する農家要望に応え、鳥取県和牛改良方針に基づき、県内和牛の改良を促進するために独自性の高い種雄牛造成に取り組んできた。

その種雄候補牛の遺伝的産肉能力を判定する現場後代検定を2003年から実施し、19頭が種雄牛として選抜されてきた。2017年1月に新たに‘勝茂久’が産肉能力成績県内歴代3位の好成績で選抜されたので紹介する。



(2) ‘勝茂久’の要約

1) 血統

‘勝茂久’は県内脂肪交雑育種価がトップクラスの母‘ひめいわ66’に、‘安福久’を交配し、父系母系の両方から名牛‘安福165の9’の血を引く種雄牛である。

2) 育種価評価

2017年4月評価で、肉質に大きく影響する脂肪交雑及びロース芯面積が、県内雌牛の上位1/10を大きく超える数値となっており肉質の改良が期待できる。

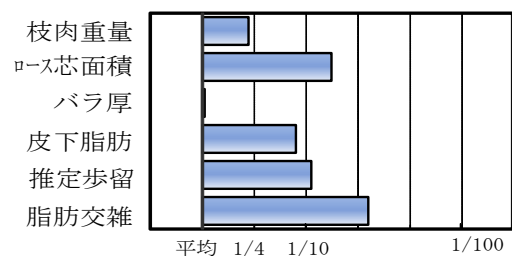
安福久 黒原 4416 (85.5) [栃木・那須]	安福165の9 黒原1683(81.0) [岐阜・高山] 直検1.32 間検1.00 2.6	安福 黒育180(83.4)	安谷土井 黒育85 ちずる 黒育7592
	もとじろう 黒1868119 (82.5) [栃木・那須]	しげふじ13の7 黒高67760(80.0)	茂富士 黒育93 おく 黒1058967
		紋次郎 黒高938	安美土井 黒育48 はるみ 黒高29888
ひめいわ66 黒 2106097 (84.3) 黒高 207421 [岡山・津山] 育種価AAAAAA	平茂勝 黒原2441(89.0) [鹿児島・薩摩] 直検1.47 間検1.01 3.3	第20平茂 黒育134(84.7)	気高 黒育9 第13ひらしげ 黒高16819
	ひめいわ57 黒原 1046151 (80.7) [岡山・津山]	ふくみ 黒高106567(81.0)	宝勝 黒育175 はつこ 黒原156592
		安福165の9 黒原1683(81.0)	安福(岐阜) 黒育180 しげふじ13の7 黒高67760
		ひめいわ27 黒原805903	糸藤 黒育154 ひめいわ7 黒育14511

育種価評価(遺伝的能力評価値)

	勝茂久	県内雌牛平均
枝肉重量	47.98	29.90
ロース芯面積	15.39	7.27
バラ厚	0.71	0.70
皮下脂肪厚	-0.77	-0.34
推定歩留	2.64	1.41
脂肪交雑	2.29	1.32

2017年4月評価

県内雌牛との育種価比較



* 「平均」「1/4」「1/10」「1/100」はそれぞれ県内供用中雌牛の「平均」「上位1/4」「上位1/10」「1/100」の育種価を示す

2 試験成果の概要

【現場後代検定成績】

性別	母の父	母の祖父	農家名	と畜場所	と畜日	と畜月齢	格付	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	脂肪交雑等級	BCS	オレイン酸含有率
去勢	茂勝栄	福栄	畜産試験場	東京	H29. 9. 30	28. 6	A 5	543.0	70	9.0	3.1	74.9	12	5	3	—
去勢	隆之国	茂勝	畜産試験場	東京	H29. 9. 30	28. 6	A 5	562.0	87	10.0	2.0	78.5	12	5	3	—
去勢	平茂晴	平茂勝	肥育農家B	名和	H28. 8. 25	27. 3	A 5	580.5	69	8.7	3.0	74.2	11	5	3	50. 8
去勢	美穂国	忠富士	肥育農家C	東京	H29. 9. 30	27. 1	A 5	539.0	62	9.3	2.3	74.9	10	5	3	—
去勢	北国7の8	安平	畜産試験場	東京	H29. 9. 30	28. 0	A 5	569.0	62	9.4	2.6	74.2	10	5	3	—
去勢	国牽白清	第5隼福	肥育農家A	東京	H29. 9. 30	28. 7	A 5	518.0	66	8.8	2.0	75.7	10	5	4	—
去勢	平茂晴	紋次郎	畜産試験場	東京	H29. 9. 30	27. 2	A 5	533.0	61	9.8	3.9	73.8	10	5	3	—
去勢	平茂勝	紋次郎	畜産試験場	東京	H29. 9. 30	28. 9	A 5	516.0	63	8.4	3.1	74.0	9	5	4	—
去勢	第1花国	安平	肥育農家D	東京	H29. 9. 30	26. 4	A 5	478.0	62	8.1	2.3	74.8	9	5	4	—
去勢	第2平茂勝	糸北富士	畜産試験場	東京	H29. 9. 30	27. 2	A 4	585.0	65	8.7	2.5	74.1	7	4	4	—
雌	安糸福	金幸	畜産試験場	名和	H28. 12. 15	30. 0	A 5	560.1	82	8.6	3.0	76.1	10	5	4	50. 9
雌	百合茂	北国7の8	畜産試験場	名和	H28. 12. 15	31. 5	A 5	508.7	63	8.7	4.1	73.4	9	5	3	58. 5
雌	智頭平茂	糸北鶴	肥育農家D	東京	H29. 9. 30	28. 2	A 4	487.0	54	8.5	3.1	73.2	7	4	3	—
雌	第2平茂勝	安平	肥育農家B	名和	H28. 8. 25	26. 2	A 4	425.7	66	6.8	2.1	75.3	6	4	4	49. 8
雌	茂重安福(岐阜)	第2平茂勝	肥育農家A	名和	H28. 10. 13	29. 0	A 4	472.3	62	7.3	3.1	73.6	6	4	4	57. 2
雌	第2平茂勝	金幸	肥育農家E	名和	H28. 12. 8	30. 1	B 4	414.5	54	6.7	4.3	71.8	5	4	4	57. 0

全体	16頭	518.2	65.5	8.6	2.9	74.5	8.9	4.7	3.5	54.0
去勢	10頭	542.4	66.7	9.0	2.7	74.9	10.0	4.9	3.4	50.8
雌	6頭	478.1	63.5	7.8	3.3	73.9	7.2	4.3	3.7	54.7

注) 単位は枝肉重量：kg ロース芯面積：cm² バラ・皮下：cm
歩留・オレイン酸含有率：%

検定の結果、BMS ナンバーは改良目標である8.0を0.9上回る8.9となり、選抜時点(2017年1月)において、脂肪交雑成績が県内歴代3位の好成績を収めた。特に去勢では10.0と驚異的な数値であった。また、調査した全頭が肉質等級4等級以上と県の改良目標の80%以上を大きく上回った。

3 普及の対象及び注意事項

本牛は大型の種雄牛であり、産子が大きい傾向があるので未經産牛への交配は十分留意すること。

4 試験担当者

(育種改良研究室 主任研究員 入江誠一)